

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
210011011	未来へつなくアウトリーチ スタートアップ Outreach activity for the future : start-up program	家政学部全教員		共通	1	必修	1年前期

科目の概要

「未来へつなくアウトリーチ スタートアップ」、「未来へつなくアウトリーチ . . .」は、家政学部の教育目標である「智・徳・行」を育成する基礎科目として設置しています。「アウトリーチ」とは「手を伸ばす/差し伸べる」ことを意味し、問題を抱えた地域へ積極的に外向いて支援することです。この科目は「未来へつなくアウトリーチ」のスタートアップのために用意されています。「アウトリーチとボランティアの社会的意義」、「家政学の視点から課題発見・課題解決（pisa型学力（知識の獲得・活用・解決する力）」、「建学の精神 - 四大精神『真心・努力・奉仕・感謝』 - 」、「社会人基礎力」について理解した上で、ボランティア活動の実施計画書を作成します。この科目の活動場所は、豊田市旭地区です。

学修内容	到達目標
アウトリーチとボランティアの社会的意義を学びます。 建学の精神（四大精神）の理解と発揮法を学びます。 社会人基礎力の理解と発揮法を学びます。 家政学の視点からボランティア先の課題を発見し、解決するためのpisa型学力を活用する方法を学びます。 実施計画書の作成法を学びます。	アウトリーチとボランティアの社会的意義が理解できる。 建学の精神（四大精神）が理解できる。 社会人基礎力が理解できる。 家政の視点からボランティア先の課題を発見し、課題解決に知識・技能をどのようにpisa型学力を活用するか理解できる。 実施計画書案を作成することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	アウトリーチとボランティア活動の意義を十分理解して、目的・目標を自己のものとして、教員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考えることができる。
	働きかけ力	活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーを動かすことができる。
	実行力	活動の目的・目標を達成しようという意志を持っている。決めたこと、決められたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	活動の目的・目標の達成に向かって、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要」と提案することができる。
	計画力	課題解決のプロセスを明確にし、何をいつまでに実行するか計画を立てることができる。
	創造力	活動の中で発見する課題を解決する複数の手順（プロセス）を思考し、その中で最善のものは何かを提案することができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。
	傾聴力	相手の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。
	柔軟性	相手の意見・考え・提案に相違点があっても反対するのではなく受容し、自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させることができる。
	状況把握力	自分の立場・役割・使命を理解し、グループメンバーがどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握できる。
	規律性	活動の中で、人と人との約束ごとである一般社会のルールや慣習、あるいはチーム内のルールや慣習を守り行動ができる。
	ストレスコントロール力	活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：毎週、配布するワークシート（PCR）が、皆さんと一緒に作り上げるテキストです。最終的には自分の教科書となります。
参考文献：無限の可能性-学泉ノート。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：家政学で学ぶ科目の社会人基礎力（学修態度）と関連します。

学修上の助言	受講生とのルール
この授業では、書き込んだワークシートを整理し、出題された課題に取り組みます。次の授業に備えて、指定された資料等を読み準備します。	グループワーク活動では、失敗を恐れず、積極的に取り組みます。グループで決められたルールは、必ず守ります。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		90		①	(以下は本授業の到達目標の項目で評価します) アウトリーチとボランティアの社会的意義を理解している。自分の考えについても記述できている。 四大精神はどのようなときに自分は発揮するのか記述できている。 社会人基礎力を理解し、自分なりにどのように発揮するのか記述できている。 ボランティア先の課題を家政の視点から発見し、課題解決に知識・技能を獲得するpisa型学力について理解できている。 目的・目標に到達できる計画書が作成できている。 (S-Cの評価) S: - 全て対応している A: - のいずれか3つは対応している B: - のいずれか2つは対応している C: - のいずれか1つは対応している (Fの評価方法と評価) ~ 全てできていない。
						②	
						③	
						④	
						⑤	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	以下の能力評価方法は、学部統一のルーブリックで評価します。 【主体性】活動の目的・目標を自発的に探し出し、一歩でも前に進めようとする行動ができている。 【実行力】活動の目的・目標を達成しようという意志を持って行動し、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動を続けている。 【課題発見力】活動の目的・目標の達成に向かって、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案ができている。 【創造力】活動時に発生する課題解決に対して、自分の意見・考え・提案をする行動ができている。 【発信力】活動時に自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、相手に伝える行動ができている。 【傾聴力】活動時に相手の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、話の内容を理解することができている、さらに相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。 【規律性】人と人との約束ごとである一般社会のルールや慣習、あるいはチーム内のルールや慣習を守る行動ができる 以上の7つの能力要素は、ワークシートの記述内容と授業内での行動より担当教員が評価します。全能力要素の評価基準は学泉ノートの評価レベルで判定します。7つの能力が全てレベル3以上で10ポイントの評価とします。レベル3以下の能力要素は 1ポイント減点とします。		
				②			
				③			
				④			
				⑤			
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
アウトリーチとボランティアの理念や社会的意義等の基礎的な知識が理解できる。 四大精神を発揮できる。 社会人基礎力が発揮できる。 実習先の課題を家政の視点から発見し、解決策を提案(pisa型学力の発揮)できる。 「未来へつなぐアウトリーチ」で実施する実施計画書は、活動内容、課題を明確にして、課題解決の達成目標、行動目標が明確になっている。 ・ から 全てを明確に理解できている・・・S ・ から 3つは理解できている・・・A	以下の ~ の内、2つは明確に理解できている。 アウトリーチとボランティアの理念や社会的意義等の基礎的な知識が理解できる。 四大精神を発揮できる。 社会人基礎力が発揮できる。 実習先の課題を家政の視点から発見し、解決策を提案(pisa型学力の発揮)できる。 「未来へつなぐアウトリーチ」で実施する実施計画書は、活動内容、課題を明確にして、課題解決の達成目標、行動目標が明確になっている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<p><学修の目的を理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・アウトリーチの目的を理解 ・ワークシート(PCR)の活用法を理解 <p><活動場所の把握></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭地区の歴史・文化、特色を把握 ・2019年度の活動報告より、活動内容を把握(報告者2年生および3年生より) ・ボランティア先の希望調査 	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を確認するディスカッションをする。 ・ワークシート(PCR)の記載放を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告された旭地区の歴史、文化、特色と活動内容のみワークシート(PCR)に記述できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭地区の情報を収集し、(PCR)に整理する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭地区の課題をワークシート(PCR)に整理する。 	60	主体性 傾聴力 課題発見力
2週 /	<p><学修内容の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス内容の把握 ・四大精神、社会人基礎力、pisa型学力の発揮法を理解 ・ボランティア先の希望調査 	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を確認するディスカッションをする。 ・ワークシート(PCR)記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法がワークシート(PCR)に記述できている。 ・ワークシート(PCR)が期限までに提出できる。 	<p>(予習)</p> <p>以下の4点をワークシート(PCR)にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力とは ・四大精神とは ・社会人基礎力とは ・ボランティアとは <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力、ボランティア・アウトリーチについてワークシート(PCR)に整理と自分にはどのようなことができるか明確にする。 	60	主体性 実行力 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力
3週 /	<p><学修内容の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナー、健康管理の重要性を理解 <p>・ボランティア先とメンバー発表、その後メンバー間で自己紹介</p>	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を確認するディスカッション ・ワークシート(PCR)に記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーの必要性和健康管理のポイントをワークシート(PCR)に記述できている ・グループメンバーに自己紹介ができる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナーとは何か、その必要性、健康管理に必要なことは何か、自己PRを考え、ワークシート(PCR)に整理する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナーの重要性、健康管理のポイントをワークシート(PCR)に整理して、理解を深める。 	60	主体性 実行力 発信力 傾聴力 課題発見力 創造力
4週 /	<p>4～6週は を纏めて実施する</p> <p><活動場所の実態把握></p> <p>地区の方より、地区の概要、活動内容を聞き、地区が直面している課題を衣・食・住・消費・環境等の家政学の観点から理解</p>	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の方による活動場所の説明と今までのボランティア活動についてコミュニケーションをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の概要と課題をワークシート(PCR)へ記述できる ・ワークシート(PCR)を期限までに提出できる。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家政学とは何か。 ・活動場所の今まで行ったボランティア活動内容・活動先の課題は何かをワークシート(PCR)に整理する。 	60	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5週 /	<p>活動先の方とディスカッションする中で、家政学の観点から課題の発見</p> <p><活動場所の課題発見></p> <p>活動先を回遊調査より、地区の方から、地区が直面している課題を整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動先の方とディスカッションする ・活動先の担当者より活動場所、内容等の講義後、グループ別に現地調査に入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の活用がワークシート(PCR)に記述できている。 ・活動場所を何をするか把握し、ワークシート(PCR)へ記述することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力をどのように発揮するか、2週目の学修内容をワークシート(PCR)に整理する。 		同上
6週 /	<p>回遊調査より、さらなる課題を発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動先の方々とコミュニケーションをとることで、課題を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(PCR)の提出期限を守ることができる。 	<p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の活動内容と課題は何か。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力は発揮できたか振り返るをワークシート(PCR)に整理する。 		同上
7週 /	<p><回遊調査の振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の課題と何を解決するかをグループメンバーと共有 ・活動の達成目標、行動目標を設定 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法 	<p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チームで、地区の課題をディスカッションにより抽出する。 ・抽出した課題を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の課題が明確になっている ・達成目標、行動目標が設定できる。 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の発揮法がワークシート(PCR)に整理するに記述できている。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回遊調査で発見した課題をまとめ、何から解決をすることが重要か優先順位をつける。 ・自己のpisa型学力、四大精神と社会人基礎力の発揮法をワークシート(PCR)に整理する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで明確にした活動場所の課題を解決する達成目標と行動目標をワークシート(PCR)に整理する。 		
8週 /	<p><課題解決の実施計画を立案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来へつなぐアウトリーチで実施する活動計画を立案(PDCAサイクル活用) ・各自のpisa型学力、四大精神、社会人基礎力の行動目標を立案 	<p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の課題解決の計画書を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・pisa型学力、四大精神、社会人基礎力の行動目標を立案がワークシート(PCR)に整理する。 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の実施計画案をグループに発表できるようにワークシート(PCR)に整理する。 <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめた実施計画案を整理する ・自己のpisa型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力の行動目標を明確にして、ワークシート(PCR)に整理する。 	60	主体性 実行力 働きかけ力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /						
10週 /						
11週 /						
12週 /						
13週 /						
14週 /						
15週 /						

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
 ストレスコントロール力